

平成30年
第 94 号

大 鉄 協

2月20日
発 行ホームページでも
ご覧いただけます大阪鉄螺卸商協同組合
<http://www.daibyokyo.com>

「組合ロゴマーク」 荒井昭子

- ◇「年頭所感」松井一郎 大阪府知事… 2~3
- ◇「年頭所感」増谷彰彦 理事長 …… 3
- ◇第1回「FE検定」合格者発表 …… 3
- ◇「合同新春互礼会 in2018」を挙行 …… 4
- ◇戌年生まれ経営者アンケート …… 5~6
- ◇「FE検定」を初開催 …… 7
- ◇組合だより …… 7
- ◇支部だより …… 8~9
- ◇委員会だより …… 9~10
- ◇第9回 テニス大会 …… 11
- ◇第3回 合同ハイキング …… 11

- ◇随想投稿欄…………… 12~14
(桂知伸、津崎護、本田眞裕美)
(村井正大、森口淳二)
- ◇FE図面セミナー開講…………… 14
- ◇OS会の貢(藤森裕介、池田淳)… 15~16
- ◇FEジュニアセミナー開講…………… 16
- ◇平成29年 講演会&忘年会 …… 17
- ◇「ねじ川柳コンテスト」結果…………… 17
- ◇[シリーズ] 私の宝物(趣味)(水谷肇)… 18
- ◇表紙のことば(荒井昭子)…………… 18
- ◇今後の主な年間スケジュール …… 19
- ◇編集後記 …… 19
- ◇協賛広告 …… 20

目

次

平成30（2018）年 知事年頭所感

大阪府知事 松井 一郎



新年あけましておめでとうございます。

私はこれまで、「成長と安全・安心のよき循環」により、府民の皆様が生活のなかで豊かさを実感

できる大阪の実現に取組んできました。その結果、来阪外国人旅行者数は大幅に増加し、雇用状況も改善するなど、大阪経済はゆるやかな回復傾向を示しています。

今年は、これまで積み上げてきた成果を土台に、府民の皆様や市町村、経済界とともに、さらなる成長の芽を大きく育てていく一年としたいと考えています。自らの有するポテンシャルを見定め、さらに磨きをかけていくことで、「副首都・大阪」をめざし、東西二極の一極として日本の成長をけん引し、誰もが安全・安心に暮らせるまちにしていきます。

これを支える制度面の取組みが、新たな大都市制度の実現です。住民の皆様のご意見を踏まえ、議会と丁寧に議論を重ね、今年秋に住民投票を実施したいと考えています。

成長の大きなインパクトとなる2025年の国際博覧会のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。子どもからお年寄りまで、だれもが生き生きと暮らせる健康で豊かな社会。そのような社会を大阪・関西から実現し、世界に広めていく。それが、私たちが目指す2025年の万博の姿です。世界から様々な「知」を集め、発信することにより、府民はもちろん、世界の人々を笑顔にしたいと考えています。今年秋には、いよいよ開催地が決定されます。フランス、ロシア、アゼルバイジャン。いずれも強敵ですが、皆様と心を一つに、オールジャパンで誘致を勝ち取りたいと思います。応援よろしくお願ひします。

あわせて、好調なインバウンドをさらに加速

するのが、統合型リゾート（IR）です。今後、IR実施法案の成立を見据え、他の自治体に先駆け、大阪の目指すIRの姿を示します。ギャンブル等依存症などの懸念事項への対策も、着実に実行していきます。こうした取組みを通じ、エンターテイメントやMICE機能を備え、ビジネス客からファミリー層まで安心して楽しめる、「世界最高水準の成長型IR」を核とした国際観光拠点を、大阪・夢洲で実現させたいと考えています。

成長の基盤となる都市インフラの充実にも力を注ぎます。魅力あふれる都市空間の創造に向け、大阪の顔となる「うめきた2期」の整備を進めるとともに、関空アクセスを強化するため、長年懸案だった「なにわ筋線」をはじめ、リニア新幹線や北陸新幹線など、広域鉄道ネットワークの整備も着実に進めます。

万博の掲げる「いのち輝く未来、だれもが活躍できる社会」をめざし、大阪・関西の強みであるライフサイエンス関連産業・研究機関の集積を生かしたイノベーションの創出に取組むとともに、健康寿命の延伸や子育て環境の整備、多様な人材育成を進めます。今年の春には、重粒子線がん治療施設が開設します。近接する大阪国際がんセンターと連携し、豊かな暮らしの基礎となる質の高い医療を提供します。

また、市町村と連携しながら保育所等の待機児童の解消や、子どもの貧困対策など、子育て環境の整備に全力で取り組みます。次の時代の大坂を担う子どもたちの教育については、学力・体力の向上や、英語教育の充実、課題を抱えた児童・生徒の支援など、さらなる教育力の向上に努めます。

一人ひとりが活躍できる社会の基盤となるのが、災害対策です。自然災害から府民の皆様の暮らしを守るために、「人命を守る」ことを最優先に、南海トラフ巨大地震への備えや豪雨対

策など、様々な危機事象に確実・迅速に対応できるよう、着実に対策を進めます。

今年も府庁が一丸となり、府民の皆様のための施策を力強く推進していきます。一層のご

理解、ご協力をお願ひいたしますとともに、本年が皆様にとって実りある素晴らしい年となりますようお祈りします。

年頭所感 グローバルとAIと塩

理事長 増 谷 彰 彦



あけましておめでとうございます。2018年の年初にあたり、一言ご挨拶申し上げます。大阪鉄螺卸商協同組合三役は、昨年5月より2期目になります。スローガンである

「全員参加」「全員行動」「全員飛躍」「全員感謝」のもと、副理事長・理事・各委員会の委員長・委員の皆様の積極的で献身的なご努力で順調に推移しております。深謝申し上げます。

1985年のプラザ合意以来、国内製造業はコストと円の高い日本を離れ、アジアをはじめとした海外へ激しく移転していきました。最近の動向をつぶさに見ていると、長期にわたって続いてきた日本経済のトレンドに新たなうねりが起きている、新しい流れが起きている感じがいたします。日本の製造業全体でも、グローバル化の流れは転換点に差し掛かっており、

今後とも技術の高い物の生産拠点を海外に移していくてもいいのかというリスクバランス、それを重視できるようなAI（人口知能）などの技術進化により、日本国内で工場を設けようと考え始めている企業が増えつつあります。グローバルな経営は一段と高度化する方向に、そして産業も変わっていきます。

そのような状況のもと「産業の塩」といわれる「ねじ」を取り扱う卸売商の集まりであります大阪鉄螺卸商協同組合では、各組合員様の人材育成にお役に立てるように、FEセミナー始め各種研修会を行っておりましたが、昨年度よりFE検定という検定制度にも取り組み始めました。また関西ねじ協同組合様とも多方面で連携し、製販の交流も深めていきたいと思っております。

今年も皆様のなお一層のご理解とご協力をお願い致しますとともに、本年が実りある素晴らしい年となります様お祈りいたします。

～合格おめでとうございます～

第1回「FE検定」合格者発表

昨年10月25日に労務委員会（梅田真吾委員長）運営のもと行われた第1回「FE検定」の結果が発表され、組合企業7社14名の方が新たに「Fastener Engineer（ねじ技術者）」として認定されました。第2回目は今年10月に実施される予定となっています。

【第1回FE検定合格者】（敬称略・合格者番号順）

▽隅田貴昭（隅田鉄螺製作所）▽西村恭平（第一ボルト）▽上林浩二（同）▽大塚喜尊（三木製作所）▽宮川卓也（同）▽高橋聖志

（三笠・鉄螺）▽西口侑里（同）▽中川鉄平（同）▽武田真幸（サンコーワインダストリー）▽加藤信之（池田金属工業）▽西尾絵里（大丸鉄螺製作所）▽錠本能絵（同）▽柴田翔大（同）▽古岩稔章（同）

「合同新春互礼会 in 2018」挙行

大阪鉄螺卸商協同組合 & 関西ねじ協同組合

商工総勢355名が盛大に門出祝う

大阪鉄螺卸商協同組合と関西ねじ協同組合（中江良一理事長）は、1月12日にシティプラザ大阪（大阪市中央区）において合同新春互礼会を挙行しました。当日は両組合より計240社・団体、総勢355名が出席。行政及び関係諸団体より7団体・9名の来賓を迎え、盛大に新年の門出を祝いました。

両組合合同での新春互礼会は今回で通算7回目。司会は関西ねじ協同組合（以下「関西ねじ」）総務委員長の松田洋明氏が務め、初めに増谷理事長による挨拶が鈴木啓次副理事長の代読により紹介されました。続いて中江理事長が挨拶に立ち、「関西のねじ製造を担う団体として発展していきたい」旨力強く新年の挨拶を述べられました。

来賓の紹介では近畿経済産業局など行政・関係諸団体の9氏が紹介されました。続いて行われた慶事の御祝では鈴木副理事長より昨年旭日双光章を受章した井澤武尚氏（大阪御商連合会・会長）に祝花が贈られました。またねじ業界からの功労者として、旭日単光章を受章した堀川武志氏（浪速鉄工株会長）、東久邇宮文化褒賞を受賞した松本隆氏（松金工業株会長）2氏の功績が紹介されました。

また、当日は若手経営者で組織するOS会及びK-2による代表幹事の挨拶と新幹事の紹介がありました。OS会代表幹事である藤森氏（有）藤森製作所）は挨拶の中で「ものづくりに活かせる知識を身に付けて欲しい」という思い



代読する鈴木副理事長

から1年の活動テーマを松下村塾にちなみ『知行合一』とした旨話しました。続いて挨拶に立った橋本浩氏（有）サカ工製鉄所）は「会員数の減少が課題となっている。当会はねじ業界の発展のため明るく精力的に活動している。参加頂ける方は一緒に活動して欲しい」旨出席者に呼びかけました。



中江理事長（関西ねじ）

この後は大鉄協の藤澤義弘副理事長による乾杯の発声で開宴となりました。宴半ばでは両組合合同企画である「ねじ川柳コンテスト」入賞者への表彰があり、理事長賞を受賞した藤元まりなさん（日本鉄螺株）と鳴田元さん（サンコーワインダストリー株）の作品が紹介され記念品が贈られました。

また、当組合の新年恒例行事となっている歳男・年女への記念品贈呈では、該当する11名（出席7名）を代表して大山文雄氏（株）オオヤマ会長）が「昨年の景気が継続しているように感じる。1年が安泰であって欲しい」旨謝辞を述べられました。祝宴は関西ねじの松本典丈副理事長が中締めの挨拶を述べ、散会となりました。



OS会・K-2の紹介



歓談の様子

～平成30年 新春企画～

戌年生まれ経営者アンケート

1. ねじ業界に入られて何年におなりですか？
2. ねじ業界に入られた動機は？
3. ねじ業界の将来をどう思われますか？簡単に。
4. 本年の景気予測は？簡単に。
5. 貴方のお好きなスポーツ選手・芸能界その他の人、その理由。
6. 貴方の家族構成は？
7. 貴方の座右の銘は？
8. 貴方のご趣味は？
9. ご自分で何かスポーツをなさっておられますが？
10. 何時もよくご覧になるテレビ番組は？その簡単なご講評も。
11. 旅行ブームです。昨年中にお出かけになつた訪問地と、旅行の回数を教えて下さい。
12. グルメの時代は終わっても、貴方の推薦のお店と、その店の自慢料理をご紹介下さい。
13. お正月のお休みはいかがなさいましたか？初詣・旅行・家庭サービス・それとも？
14. 貴方のとくに気をつけておられる健康管理方法は？
15. 最後に、2018年に年男となる貴方の新年のご抱負を一言。

(株)オオヤマ
大山文雄
(昭和9年生まれ)

1. 50年。
2. 自然に。
3. 希望が持てる。
4. 現状が持続。
5. 松山プロ努力家であるため。
6. 妻と2人。
7. 自然体。
8. ゴルフ。
9. ゴルフ。
10. B S (NHK)
11. 絶海の孤島 北大東島・南大東島への旅行。
13. 旅行。
14. 自然体。
15. 老兵は死なずただ去りゆくのみ。

(株)垣内螺子商会
垣内龍夫
(昭和33年生まれ)

1. 37年。

2. 家業の為。
3. 材質・形状等はどんどん変化していくだろうが、底堅い業種であり希望は持てる。
4. 中小零細企業は競争が激しく、厳しい状況が続くと思う。
5. ラグビーの五郎丸。精神力の強さ、チームに対する献身さ。
6. 現在は妻、三男と三人
7. 座右の銘ではないが、「継続は力なり」は好きな言葉である。
8. 全て中途半端なので今年こそ見つける。
9. 楽しみは大鉛協の野球、ゴルフ。
10. スポーツ全般、報道番組。
11. 沖縄、島根、草津温泉、金沢等他数か所。
12. 奈良県の「秋篠の森 くるみの木」。ランチを食べに年数回行く。野菜を使った料理。
13. 毎年同じパターン。家族全員で初詣に始まり、締めはカラオケで歌い始め。
14. 暴飲暴食を控え、特に食事は野菜を多くする。
15. 健康であることが第一と考えているので体調管理を万全にしていく。

アジアプランニング(株)
近 藤 淳
(昭和33年生まれ)

1. 25年。
2. 会社員時代に業界に接点。
3. 需要産業の動向次第。
4. 小幅上昇。
5. 妻と一男一女。
6. ケ・セラ・セラ。
7. 旅行と読書。
8. 日々のウォーキング。
9. ニュース以外は原則テレビを見ません。
10. 台湾台中・ハワイ・4回。
11. 調査中。
12. 温暖な台中で過ごしました。
13. 何はともあれ人間ドック。
14. これまで周囲に気をつかって生活しましたので(笑)自由奔放に……

アサヒアペックス(株)
鈴 木 啓 次
(昭和33年生まれ)

1. 35年。
2. 結婚により業界入り。
3. 人が集まれば良い職業だと思う。
4. 懸念があるが、良い方向に。
5. 期待をこめて女子プロゴルファーの畠岡奈紗。
6. 嫁と犬1匹。
7. 「為せば成る」。
8. お酒とゴルフ。
9. ウォーキングとゴルフ。
10. 旅行の回数は14回。ハワイへ2回、四国に5回、その他北から、北海道、福島、長野、等々。
11. 推薦するお店は、「タベルネット北山」。生うにのパスタトリュフたっぷりとワイン。
12. 鹿児島県指宿で温泉とゴルフを楽しみました。
13. 歩く事と、食事前にキャベツを食べる事。
14. やるべき事をしっかりやる。

(株)三笠・銀螺
高 橋 洋 介
(昭和33年生まれ)

1. 12年。
2. 現社長に声をかけてもらった。父親も携わつ

- ていたから。
3. 業態は変化するがそれに対応すれば面白い部分も有ると思う。
 4. 大方は昨年からの延長で拡大すると思うが不確定要素が多すぎるので不透明。
 5. 妻と愛犬(メス)と3人。
 6. 熟慮断行。
 7. 船釣り。キス釣りから深海釣りまで。
 8. プールで運動。
 9. 池上彰氏の番組。私でもわかる様に説明してくれる。
 10. 三朝温泉。伊豆、賢島、淡路島、三国温泉に6回。
 11. 比良山荘の鮎料理。
 12. 愛犬をつれて氏神様初詣、京都市内のホテルで一泊、書類の整理、お屠蘇は控えめに。
 13. 愛犬と散歩。時々プールとジム。
 14. 人として間違わないように判断し、かつ行動できる様自らを戒めて。

大弘銀螺(株)
森 口 聰
(昭和45年生まれ)

1. 28年。
2. 家業であった為。
3. 業態自体は変わって行くかもしれませんのが欠くことのない締結部品としてねじ業界は必要とされると思います。
4. 東京オリンピックまでは忙しそうな気がします。
5. 小泉今日子。
6. ダルメシアン(女の子10歳)。
7. 誠実。
8. オートキャンプ、安くてうまいワイン探し。
9. ウィンドサーフィンの道具は持っています。
10. 話題と、人気のあるドラマは見る様にしています。
11. 西部支那旅行で「特急しまかぜ」に乗せていただきました。キャンプ道具を車に積んで年2~3回 山、川、海に出かけています。
12. 生レバ、ユッケを出してくれる焼肉店アブラを出してくれるふぐ料理店。
13. 喪中の為家でおとなしくしていました。
14. よく寝る事。
15. 健康第一。ダイエットでもしようかな?。

52名が“Challenge!!” 労務委員会 第1回「FE検定」

昨年10月25日に労務委員会(梅田真吾委員長)運営のもと第1回目となる「FE検定」を鐵鋼会館において開催しました。第1回目となった同検定のキャッチコピーは「Challenge!!(挑戦することに意義がある)」。当日は組合員企業18社より52名の方が受検しました(3頁に合格者を掲載)。

当日は増谷理事長が挨拶に立ち、「1回目の試験ということで色々と不安があったのではないかと思うが、そのような中多数の方に受検して頂き御礼申し上げる。検定の基礎となるFEセミナーは人材育成を目的として何十年も続けられてきたが、その集大成としてこの『FE検定』がある」旨話しました。また、「今回が第1回目だが合格された方にとって意義のある資格となるよう運営をしていきたい。今日は日頃の成果を出し尽くして欲しい」旨話し受験者を激励しました。続いて労務委員の梅田委員長より注意事項が説明された後に試験問題と解答用紙が配布され、受験者は午後2時より

60分間試験問題に取り組みました。

FE検定は「FEセミナー(スタンダードコース)」の習熟度の判定を目的として設立された認定制度です。検定合格者は「Fastener Engineer(ねじ技術者)」として当組合より認定証が発行されるほか、合格者番号・氏名・社名を組合ホームページに掲載する予定となっております。試験はねじの基礎知識全般を問う内容となっており、第三者認証機関である㈱NQA-JAPAN様に監修として加わって頂くことで試験内容の均一化を図っています。



試験の様子

組合だより

◇表彰関係

受賞おめでとうございます。

◎大阪府商工関係者表彰

大喜多株式会社

代表取締役 大喜多 正己 氏
(平成30年2月)

◎大阪中小企業団体中央会

組合経営功労者

- ・太陽ファスナー株式会社
代表取締役 馬渕 健司 氏
(平成29年9月)

◎大阪卸商連合会優良団体役員表彰

株式会社 コムウエル・フジサワ
代表取締役 藤澤 義弘 氏
(平成30年2月)

◇会社合併による新社長就任

○東部支部所属 (旧三喜鉄螺(株))

- ・富士セイラ株式会社
代表取締役社長 高須 俊行 氏
(平成29年12月)

◇計報

○本田支部所属

- ・株式会社 鈴木製作所
取締役会長 鈴木 芳雄 氏
(平成29年10月ご逝去)

○西部支部所属

- ・大弘鉄螺株式会社
取締役会長 森口 武 氏
(平成29年11月ご逝去)

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告致します。

支部だより

明るい年にして行こう

西部支部長 三木 茂晴

新年あけましておめでとうございます。支部の皆様、組合の皆様、平素は支部活動に御協力頂き厚く御礼申し上げます。皆様におかれましては、少し寒い新春ですが、お健やかにお迎えのことと存じます。

気候は冷えてはおりますが、景気は上向きではないでしょうか。2020年のオリンピックに向けて、株価も久方ぶりの高値圏を維持しておりますし、大企業を中心に好循環で動いているように思われます。しばらく続きそうですね。

さて、支部活動の報告です。まずは、大弘鉄螺(株)森口さんのご尊父が昨年11月にご逝去されました。お悔やみ申し上げますとともにどうかお力落としないように。

昨年は新年会に始まり、6月の総会＆旅行で終わってしまいました(例年、同じなんですが……)。今年は明るい良き年になるよう少し豪勢に新年会、旅行、イベント等を実施し、より一層の支部団結を計りたいと考えております。皆様、今年もよろしくお願ひいたします。

明るい一年、明るい中央支部

中央支部長 桂 知伸

新年明けましておめでとうございます。支部の皆様におかれましては旧年中は色々とご支援・ご協力を賜り有難うございました。本年も何卒よろしくお願ひします。

関西の景気は、上昇傾向にあるものの、未だ安定的な状況にあるとはいえないかもしれません。しかし、2019年にはラグビーワールドカップ、2020年には東京オリンピック、2021年にはワールドマスターズゲームと明るい話題が目白押しです。中央支部も皆様と一緒に明るい支部活動の運営を行いたいと思います。

本年度は1月26日にホテルニューオータニにて新年食事会、10月頃に支部旅行を予定しています。何かとお忙しいと存じますが支部活動へのご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

ワクワク体験旅行

東部支部長 本田 裕久

新年あけましておめでとうございます。支部の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えの事と存じます。平素は支部活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

さて東部支部では夏の納涼会に続き、秋の懇親旅行を開催。北陸方面へ行ってまいりました。「ワクワク体験旅行」という企画で、2日間そば打ち、蒲鉾作り、ろくろ体験、そして金箔貼りと4つの体験をしてきました。当初はどうなることかと不安もありましたが、いざ始まると大盛り上がり!いつもとは少し違った旅行となり、ご満足して頂けたと幹事一同ホッとしております。次回も楽しい旅になるよう頑張ります。

2月2日には「網元」で新年会があり、一枚岩の結束をまた実感したところです。今年もまた楽しい納涼会や旅行を計画しておりますのでご参加の程宜しくお願い致します。

3月に懇親旅行

九条支部長 平田 政弘

新年明けましておめでとうございます。平素は支部活動にご協力戴きまして誠に有難うございます。

数字だけが先走る?様な実感無き好景気?の動向も昨秋から少しずつ体感でも感じ取れる様な景気動向に変化しつつある様な気も致しております。然りとて高度成長期やバブルの時の様なあらゆる業種、全社、全員が恩恵を被れる世相で無いのは周知の通りでございます。

その様な近年にない厳しい時代背景ではありますが、今年の亥年をより良い一年にする為にも一層の懇親を深め情報交換をし、この難局の時代を乗り越えて行ければと願っております。今後の活動としましては3月に東北方面への懇親旅行を予定しております。

最後に2018年が組合員の皆様方にとて素晴らしい一年になります事を祈念申し上げます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

笑う門には福来る

本田支部長 赤座 和宏

新年あけましておめでとうございます。日頃は組合及び支部活動にご協力いただきありがとうございます。

昨年度の活動報告としまして、9月に「吉本新喜劇」を観に行きました。皆さんの評判もよく「是非また観たい」「タイガース観戦のように毎年の行事にしては?」とのご意見もいただき、今後の検討課題にしたいと思います。

そして11月には有志によるタイ研修旅行を

山里様、谷川様のお世話により行いました。また理事長増谷様、中央支部の西出様も特別参加いただきありがとうございました。

今年度の活動予定ですが2月に会計幹事の川西様のお世話により冬の味覚の王様「ふぐ」を食べに行きます。知る人ぞ知る名店らしいので期待が膨らみます。そして5月に支部総会を予定しています。

本年も支部活動にご協力とご理解を賜りますようよろしくお願ひいたしますとともに、皆様が笑って過ごせる良い年になることを祈念いたします。

委員会だより

ボウリング大会ルール変更あります！

福利厚生委員長 西出 倫明

新年明けましておめでとう御座います。

昨年最後の行事は10月22日に大雨で延期になりました。年の瀬のせいか寒すぎるせいなのか参加者が少なく少し寂しい思いで臨みましたが、流石にこの条件でも参加頂いたメンバーは元気と言いますか和気あいあいとゲームを楽しんで頂けたのではないかと思いました。次回のテニス大会にはまた奮ってのご参加を御願い致します。

さて、今年最初の催しであるボウリング大会が3月4日に開催されます。今年はルールを変更して子供達が参加しやすい様に工夫しております。

- ① 小学生は3ゲームを1名～3名で投球しても良い。(1チーム1枠に限る)
- ② 上記小学生枠はガータレス柵を希望により設ける。(ハンデは無くなります)
- ③ マイボールマイシューズの方は年齢性別関係なくスクラッチ(ハンデ無し)とする。

上記ルールで今年は行う予定です。多数のご参加お待ちしております。また、その後には真夏の野球大会も御座いますので、プレーヤーや応援団として参加して下さい。

皆さんに楽しんで頂けるよう本年度も活動してまいりますので、ご協力のほど宜しくお願

い申し上げます。

業務委員会3本柱販売御礼

業務委員長 堀内 龍夫

新年あけましておめでとうございます。今年は私のあたり年です。とうとう還暦を迎えることとなりました。歳ばかり食ってとよく言いますが、実感しています。

ところで戌年にはどういった意味があるか調べてみました。戌という漢字に少し手を加えると「滅」となります。この様に草木が枯れて休眠する年とも言われていますが、悪く考えることはなく、次に命を繋ぎ、新しい命を守るという縁起の良い年回りであるという事です。妊婦さんが戌の日に腹帯を巻くのは、安産祈願と生まれてくる新しい命を守ってもらうという意味があるそうです。

さて、平素は業務委員会が取り扱う「共同購買」「出版」「保険」「カーリース」等、各種事業に対し、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。お陰様で昨年も手帳、A5ビジネスダイアリー、カレンダーの販売目標の達成ができました。ご協力を頂きました組合員の皆様には心より感謝申し上げます。70周年の記念事業も控えています。今後とも、組合財源の確保に少しでも寄与できます様、皆様方のご協力宜しくお願い致します。

行事予定

労務副委員長 大山 寛之

皆様新年明けましておめでとうございます。平素は何かと労務委員会の行事に御協力頂き有難うございます。又、昨年は初の試みであるFE検定にも多数ご参加頂き有難うございました。今年も10月に実施する予定ですので奮ってご参加頂けるよう宜しくお願ひ致します。

他にも行事は盛り沢山で、ものづくりを体験して頂く加工体験コース(3月)や日本鉛螺(株)の西川社長が講師のFEセミナースタンドコース(3月)と(株)サイマコーポレーション斎間社長が講師のジュニアセミナー(11月)を開催する予定です。又、工場見学は9月頃に紀州ファスナー(株)和歌山工場を見学する予定です。

戌年の格言は「笑う」と言われますが明るい一年になるよう頑張りたいと思います。本年度も労務委員会の活動に御理解・御協力の程お願い申し上げます。

講演会

経営委員長 近藤 淳

経営委員会から活動状況をご報告申し上げます。経営委員会では忘年会に先立ち年末講演会を開催しました。本年は企業研修講師で、元山陽放送アナウンサーの本田裕美先生に、「社長のための表現力・話し方を身に付ける」と言うテーマで講演をお願いしました。多くの人と会い、挨拶を交わし、また人前で話すことの多い経営者に焦点を当て、どのようにすれば相手を引きつけ自分の気持ちをリラックスして伝えられるか、種々のヒントや方法を教えて頂きました。

当日は多くの組合員の参加を賜り、心より感謝申し上げます。年末・年始は経営者にとって多くの人と接する機会が多い時期です。今回の講演が役立つことを希望します。尚、三月には、また新たな勉強会を開催する予定です。これにも多数のご参加をお願い申し上げます。

「大鉛協」組合旗の完成

広報委員長 北川 浩史

平素は、広報委員会の活動にご協力を賜りありがとうございます。この度も『大鉛協94

号』を無事発行できましたこと厚く御礼申し上げます。

この号の巻頭表紙は写真では無く昨年作成しました大鉛協の旗シンボルマークと致しました。大鉛協の旗を広報委員会で取り纏める事を仰せつかり、私の心境は「何で私が広報委員長の時に……」と責務の重圧に嘆いておりました。委員会メンバー・事務局の力添えを頂きながら64点もの応募を頂く事ができ、最終審査は理事会の投票により採択致しました。採用の決定を大丸鉛螺様に報告に訪れた際、細山田会長が「とても名誉なことだ」と慶び仰って頂きました。最初、重責に嘆いていた私でしたが、昨年の忘年会の会場壇上で金屏風の上に掲げられた旗は神々しく煌びやかに映り、私が広報委員長の時に組合の旗が作られた事に感謝の気持ちに変わっていました。

小旗も製作しております。各支部でご入り用な際は是非、活用して下さい。

昨年の活動報告

総務委員長 宮川 勝

皆様新年明けましておめでとうございます。

総務委員と致しまして昨年の活動を報告させて頂きます。昨年12月にスイスホテルにて忘年会を開催致しました。今回は、組合員様方に食事又会話等を十分に楽しんで頂こうと考慮し余興関係を最小限に留めました。雰囲気をテーマとし、忘年会を企画致しました。

宴会は若手の熊田委員の勢い溢れる総合司会にて執り行われ、中上副理事長の年末に相応しい乾杯で始まり、滞りなく開演致しました。又恒例のbingo大会は余興を少なくした分、時間にゆとりを持って盛大に執り行われ沢山の会員様方に豪華景品をお持ち帰り頂けたかと思います。中締めの挨拶として鈴木副理事長の元気溢れる大阪締めで無事年を締めました。

さて2018年の総務委員会の活動ですが、年初め1月12日にシティプラザ大阪にて関西ねじ協同組合様と合同で新年互礼会を開催致しました。

鈴木副理事長の年始の挨拶、乾杯は藤澤副理事長で新年早々盛大に執り行う事が出来ました。今年も去年と違った色で企画運営を執り行いますので皆様の参加お待ち申しております。

優勝は谷川精螺

福利厚生委員会 第9回硬式テニス大会

福利厚生委員会（西出倫明委員長）は、昨年12月10日に大阪市此花区のミズノスポーツプラザ舞洲において「第9回硬式テニス大会」を開催しました。当日は組合企業の従業員とその家族29名が参加。当日は好天に恵まれ、参加者は小春日和の下テニスを楽しみました。

今大会では6チーム29名が参加。予選リーグ、決勝トーナメント共にダブルスの団体戦形式で試合が行われ、谷川精螺チームが見事優勝を飾りました。また準優勝はテクノアソシエチームでした。入賞チームは表彰式にて健闘を称えられ、増谷理事長より表彰状と副賞が手渡されました。また大会終了後には異なる企業同士でダブルスを組む交流試合も行われました。

福利厚生委員によるテニス大会は今回で9回目。10月22日の開催を予定していたが、荒天のため延期となっていました。次回の行事とし

ては3月4月に恒例のボウリング大会（於・弁天町グランドボウル）を予定しています。

【今大会の出場チーム】

池田金属工業（2チーム）、サンコーインダストリー、谷川精螺、テクノアソシエ、連合チーム（オーワハガネ工業、第一ボールト、竹上鉄螺、増谷ボルト）



優勝・谷川精螺チーム

晩秋の山道を歩く

大鉄協&関西ねじ 合同ハイキングを実施

大阪鉄螺卸商協同組合と関西ねじ協同組合は、昨年11月19日に第3回目となる「合同ハイキング」を実施しました。当日は5社より14名が参加。冬の訪れを感じながら山歩きを楽しみました。

季節毎の恒例行事となりつつあるこの催しは両組合による初の合同行事として企画されたもので、合計6回にわたり生駒山系を南北に歩く予定となっています。第3回目となった当日はJR野崎駅から近鉄石切駅までの約15kmのコースを約6時間かけて歩きました。



参加者による集合写真

参加者一行は午前8時半にJR野崎駅に集合。今回も世話人である増谷理事長よりコースについて簡単な説明があった後に、国道163号線より飯盛山（標高314m）に入り、野崎観音を訪れた後に山道を歩き始めました。途中「辻の新池（標高215m）」等で休憩を挟みながら午前10時頃に山頂に無事到着。山頂からの見事な眺望を満喫しました。

その後は約2時間程度歩き、生駒山麓公園付近で昼食をとりました。あいにくの曇天ということもあり当日は肌寒い気温となりましたが、インストラクターの原脊氏による温かいラーメンの差し入れもあり、参加者は皆ゴールまで元気に歩いていました。

昼食後は近鉄石切駅に向かって下山をはじめ、参加者は14時頃に今回のゴールである近鉄石切駅に到着。増谷理事長より今後の予定について説明があった後に解散しました。なお次回は「リベンジ」として、3月25日に今回と同じコースを歩く予定となっています。

隨想投稿欄

選択する人、される人

(株)村井製作所

村井正大

私は人生は常に選択の連続だと思っています。

私自身、幼稚園児の時に野球と出会い、大学を卒業するまで野球に明け暮れました。家族旅行の思い出も数える程で常に野球を中心の生活でした。

人生の初めての大きな選択は、高校進学の時でした。甲子園に出られる確率は低いが、家から通学出来る学校へ行くのか、甲子園に出られる確率が高い学校へ行くのか…。私は「ベンチに入れなくてもいいから甲子園を狙える学校へ行きたい。甲子園に出られるのであれば地方へでも行きたい」と親に言ったことを覚えています。その時はただ夢を追いかけていただけで、今思い返せば我ながら思い切ったなと思います。

それから大学進学、就職、と選択を繰り返し今に至りますが、最近では選択するよりも選択される側の方が多いことに気がつきました。

日々の営業活動の中で、いかに私たちの会社を選んで頂けるか、どうすれば選び続けて頂けるかが毎日の課題であります。もはや自分本位の選択などありません(笑)。そのスタイルの営業を選択したのかもしれません…。

そんな時、ふと頭をよぎるフレーズが「敵を知り己を知れば百戦殆うからず」です。高校の教師に呪文のように聞かされ続けてきた言葉です。高校時代では、また言ってるよ、と思っていましたが、大人になって野球以外にも通じるんじゃないかなと思うようになりました。

相手方は私に何を求める、私は何を満たすことができるのか、決して商材だけを求めている訳ではないと思います。それを追求することが選択され続けることではないかと思います。そんな私は、選択され続ける人間になりたいと、日々精進しているところです。

絶景を求めて

(株)ホンダ銀螺製作所

本田眞裕美

昨年のお盆休みに、約10年ぶりの登山に行きました。以前から登山に興味を持っていた友人親子と、初めて本格的な山登りに挑戦する中1の孫を連れての山小屋一泊です。

初心者向けの燕岳を選んだものの、体力の衰えと日々の運動不足にたたられ息を切らして何度も休憩しながら、なんとか絶景を目にすることができました。雷鳥やコマクサ・朝日等々、登山の感動を十分伝えることができたのではないかと思います。

学生時代はどちらかというと嫌いだった登山ですが今ではすっかりその魅力にはまっています。

私が山登りを好きになったきっかけは、子供達がまだ小さかった頃、主人が見つけてきた「真夏でも雪が積もっているところがある」という白馬大雪渓に雪をさわりに行ったことでした。車を停めて2時間ほど歩いてやっと着いた所にはシャーベット状になった雪が確かに、しかもずっと遠くかすむまで続いていたのです。そこは登山者たちの出発地点でした。

大きなザックを背負ったたくさんの登山者たちがどんどん上へ上へと登っていくのを見て、子供たちと一緒に私たちも上へ行きたいねと自然に思うようになり、次の年には軽アイゼンを用意して登山者たちの後についていくようになりました。頂上の白馬岳に到達するのは3年越しでしたが、キャンプや川遊びなどアウトドア派だった私たちはそれから登山の虜となりました。そういう訳で次の年のお盆から毎年家族で北アルプスへ登山に行くようになり、子供たちが巣立ってからも夫婦二人で登山を楽しむようになりました。主人が膝と腰を痛めてからは専ら温泉旅行に趣味が転じてしましましたが、またいつの日かゆっくり自分

のペースで色々な山に登り絶景をアテにワンカップを頂ける日を楽しみにしてます。

古き良きもの

平田ネジ(株)
森 口 淳 二

つい最近、街中でダットサン(日産自動車)「ブルーバード510」を見掛けました。1970年前後に生産され、小生が車の免許を取得した頃はまだ現役で多く見られた車種ですが、いつの間にかモデルチェンジを繰り返し現在では「ブルーバード」の車名も残っていない中、非常に「手」の入った完璧な姿にいつの間にか見入ってしまい、当時この車を買うか買まいか友人と夜遅くまで話し合っていた事を懐かしく思い出しました。

当時に比べ、今見る「510」は非常に魅力的で非常に「カッコいい」。今の車にある便利機能や安全機能など当然一切なし、至ってシンプル。オーソドックスな箱形、4ドアセダンと2ドアクーペがあり特にクーペはセダンの2ドア版?と思える程シンプルなスタイルであり、そこに魅了されます。L型4気筒ツインキャブ、四独……このまま「510」を語らすとエンドレスのため中略。

初期モデルで50年経過しようとしていますが、現在も走行可能。内外共にレストアされるで新車状態。今の時代に50年前の「味のある車」に手を入れ「カッコよく」走らせ「おしゃれ感」が漂う車のオーナーはどんな人だろう?小生と同世代の方?などいらぬ想像をしてしまいます。

又、カメラも同様でクラシックスタイルの製品を店頭でよく見掛けます。デジタル一眼だけどフィルムルック。昔のフィルムカメラの「名機」を知る小生としては思わず手に取ってしまいます。

若い女性に言わせれば「レトロでおしゃれ」?写真を撮る機能は勿論ですが、そこに所持するおしゃれ感を求める。最近は「スマホ」の画質も良く、撮った写真をそのまま「インスタグラ

ム」への時代にあえてクラシックスタイルのカメラを所持する「カメラ女子」。彼女達は革張りボディに単焦点レンズ、お気に入りのカメラカバー、ストラップ、バッグとトータルコーディネート。全てに対し「かわいい」と証する事が絶対条件である。

写真好きの「オッサン」感覚でなく、女性感覚で「かわいい物」「おしゃれな物」「ゆるふわな物」が被写体。作品を見ると「えっ」と思う写真が多く、特に「ゆるふわ」写真などはカメラが良いのか腕が良いのか分からぬ程きれいな「ボケ」が出ており非常に美しい写真が撮られています。

いずれにしても車、カメラだけで無く昔の「良いもの」「味のあるもの」はたくさんあると思います。それらを現代風にどの様にアレンジするのか、ニーズのターゲットはどこなのか、どのようなシチュエーションなのか。古い物の良いところを現代にどの様に活かすのか、奇想天外な発想力が大事です。もの作りをしている我々も「価値ある製品」「味のある製品」を奇想天外な発想で追求してゆきたいものです。

ハンコ・トウケイ・カは 動脈硬化現象である

(株)山一精工
桂 知 伸

年末の大掃除の時に書類を整理していると約25年前に受けた研修会の資料が出てきました。社内決裁や品質対策書のハンコ(印鑑)押しが多い企業は組織の肥大と権限の委譲が出来ていない。売上や品質にトウケイ(統計)データが多い会社は管理システムが複雑で官僚的である。過去のデータに振り回されず三現主義に徹すべき。カイギ(会議)が多くないですか? 経営会議、部課長会議、品質会議等々、会議が仕事ではありません!

25年前に受けた研修資料でしたが経営、仕事の本質は同じとあらためて感じました。当社も創業52年、万事形式ばってきて、動脈硬化現象にならないよう気をつけないと!

我が子に思う事

大洋ねぢ(株)
津崎 譲

齢四十を過ぎてから初めて女児を授かり、早二年が過ぎた。

生まれた当日の事はいまだに鮮明に覚えている。

晩遅くに破水があり緊急入院になった訳だが、朝になってみると「まだまだ時間がかかりそうだ」との事で病院を追い出され、会社には行けどもかなり上の空で仕事をしていた様に思う。

しかし昼前に「生まれそうだ」との連絡があり、急いで駆け付けた時には陣痛がもうクライマックス中のクライマックスに達しており、到着から十分もたたず凄まじい形相の妻と共に分娩室へ。相当安産だったのだろう、これまた十分もたたずに子供が無事生まれてきた。

自分としては実質二十分程の立会いであるので「スムーズに生まれてよかったな」などと気楽に思っていたのだが、当の妻からすれば朝に陣痛促進剤を打たれてから七転八倒の苦しみにあえいでいたらしく「男がこの苦しみを味わわないでいいのは不条理だ、次はお前が生め」とその後何回言われたかわからない。

そうして生まれて来てくれた我が子である。誕生時には二千四百グラム程しかなかった体重も気がつけば十キロを越え、身長も百センチを越えようとしている。「チンパンジーみたいだな」と不謹慎にも思っていた顔もそれなりに女の子らしくなってきた。

いわゆるビオレデビューからこの方、子供を風呂に入れるのは自分の仕事になっているのだが、お父さん教室で習った赤ん坊の洗い方でおっかなびっくり洗っていた我が子が、自分で体や髪を洗う真似事をする様にもなってきている。

二歳を過ぎたあたりから言葉も堰を切ったかのように増え出した。ご多分にもれずアンパンマンが大好きなのだが、一度見に行ったショーの司会のお姉さんのモノマネを身振り手振りを交えてワンステージやり切る様など見ていると笑えるやら感心するやらこちらも忙しい。

「子育てとはなんぞや」と語れる程に子育てに参加してきたわけでは無い(育メン面なんぞした日には妻にヘソで茶を沸かされる)自分が、それでも子供が笑ってくれる度、少しでも多くそんな笑顔が作れる手伝いをしてやる事が親の仕事なのだろうと思うこの頃である。

そして日々がんばる妻には感謝また感謝!



FE 図面セミナー開催 労務委員会 10社から20名が参加

FEセミナー「第24回図面の見方・描き方」コースが昨年10月6~7日の2日間、東大阪市の大坂府立東大阪高等職業技術専門校(山根良文校長)で開かれ、組合員企業10社から20名が受講しました。

当日は本講座を担当して12年目となる森由利子氏による講義を受けました。講師の森氏はJIS B0001機械製図規格に基づき、手元のPC操作の模様をスクリーンに映し出す形で演習問題(出題)→答合わせ→解説の順に単元ごとの理解を経て、次のステップに進むやり方で講義を行いました。

講座内容は、初日午前が製図規格、図面の大きさや様式、投影法などの講義、午後は製図室でドラフターを用いた作図練習、2日目は午前が図形の表し方・断面法、寸法の記入法、材料記号に関する講義、午後は機械部品を想定した課題実習など、実際に活用出来る内容となっています。



セミナーの様子

OS会の頁

趣味

(有)藤森製作所

藤森 裕介

私の趣味は車、スキーと釣りといったところです。しかし、趣味と思っているものの最近はめっきりできていませんでした。

スキーは親の趣味でもあったので小さい頃から連れて行かれていて、物心ついた頃には冬にはスキーというのは当たり前でした。しかし、学生時代になりアルペンスキーパー部に所属することになり、「なんてお金がかかるんや！」と痛感しました。合宿ともなると遠征費、宿泊費、リフト代などとても大変でした。幸いにしてスキーに関しては冬限定スポーツということと親の応援もありスキーパー部を辞めるには至りませんでした。

車の方といいますとこれは学生で一人暮らしを始めたときに同じアパートの先輩に誘われたのがきっかけで夜な夜な出かけるようになります。この頃はまだ遊びのようなもので夜の暇つぶし程度のものでした。

そんな二足のわらじ状態の学生時代はとりあえず賄いのある飲食関係のバイトと仕送りでやりくりしていました。そのうちに車の方は夜活動からサーキット走行へ、その後レース活動へ変わっていきました。レースを始めた頃はスキーパー部も引退していて車一筋だったので、レース費用を捻出するために二足のわらじ時代より困窮してました。

そんなこんなで食料調達のために3つ目の趣味である釣りを再開することになりました。釣りは小さい頃からちょくちょくしていて、奈良生まれの奈良育ちなのでもっぱら川か池でフナ釣りくらいのものでした。でも学生時代は岡山県の大学に通ってたので下宿をしてました。下宿先の近所には旭川という割と大きな川があり、海も近く釣りには最高の環境でした。近所でミミズを掘り針に付けて放置しておけばウナギが、河口ではルアーでスズキが釣れ、

趣味というより生活のための漁に近かったように今では思います。

大学も卒業し岡山で就職し相変わらずレースと釣りは続けてました。しかし結婚が決まり、それを機に奈良に戻り今の会社に勤めることに。子どもが産まれ、スキーにも釣りにも行かなくなりました。レースはスプリントレースから負担の少ない耐久レースへと転向し細々と続けていましたが、いつしかレースからも離れてしまいました。

数年し、子どもが歩くようになると親子でスキーをしようと思い、スキーを再開しました。また数年すると子どもが習い事を始めたり、友達と遊ぶのに忙しくてまたスキーに行かなくなりました。

最近は子どもがあまり手がかからなくなつたので私は好きな車と釣竿を買いました。これが去年(2017年)の話です。趣味とは人生のスパイスと例えられたりしますがその通りで、しばらく刺激なしの時間を過ごしていましたがそろそろまたスパイスを入れていこうかと思います。

そのうち子どもが車やスキー、釣りに興味を持ち、趣味を共有できればいいなあと思う今日この頃です。

自転車

(株)コボリ
池田 淳

「せっかくの休日に自分は何故こんなツラいことをするんだろう…」。今でもヒルクライム(山や峠の登坂コースを自転車で走る)の最中に思います。

自転車というと、移動手段以外の何物でもなく、社会人になりロードバイクを買った時も、サイクリングロードを行き来するだけの楽しい乗り物でしたが、ある夏の日、友人に誘われ軽い気持ちで六甲山を登ることになりその印象はガラリと変わりました。真夏の炎天下

の中、走り始めて半分ほど迄は初めてのコースにちょっとした冒険気分を味わっていましたが、段々と様子が変わります。

後半を過ぎると足腰は限界に近付き、何度も足を休めて水分補給。漕いでも漕いでもスピードは上がらず、目の前のカーブはなかなか近付かせん。いよいよ山頂まで残り数キロとなると、まだ見ぬゴールが頭の中をよぎりますが、山登りの数キロはとても長く感じられます。力を振り絞ってカーブを曲がり「ゴールか!?」と顔を上げると、また次の坂がグニャリと伸びている……繰り返されるつづら折りの光景に腹が立ち、「もう二度と自転車に乗らない」「こんなとこに自転車の走れる道路を作るなんて」と意味不明の毒を吐き始めます。期待と失望を繰り返すうちに、もう思考や感情は捨てようと腹をくくることになります。しばらくすると、ゆっくりと頭の中に台風が過ぎ去った後のようにシンと静まり返る時間が訪れ、そしてバラバラになった思考や次々と目に入る景色、自身の身体、自転車、何もかもが均一に混ざり合い、透明になったような感覚に陥ります。そこからは、透明と絶望の間をさまよいながら、無心のままいつのまにかゴールしてしまって

いました。

とにかく苦しいヒルクライムですが、登り切れば素晴らしい景色と達成感が待っています。自力で登った山頂から眺める青い空は、普段より一層きれいに見え、頂上まで堪えてくれた心肺や筋肉が愛おしくなり「健康ってすばらしい…!」と感謝の気持ちが溢れます。

あえて苦しみを味わい奇妙な感覚や感動のご褒美まで得られるヒルクライム。漕いでいる時は悪態をつき、泣き言を言い、と楽しいことだけではないですが夢中になってしまふ理由があると感じます。

坂道だけでなく、風や景色、匂い、またスピードやタイム、チームプレイ等々、自転車の楽しみ方は色々あります。何時間もかけてサイクリングしながら友人とラーメン屋巡りをしたのは良い思い出です。今は乗る機会が減ってしまいましたが、息子が大きくなればまた坂道の苦しみと一緒に味わうつもりでいます。今は少し落ち着いたエコ・健康ブームの流れから“街乗り”や自転車通勤が人気を集めましたが、これからも様々な形で自転車を楽しめる人が増えて欲しいと願います。



第6回FEジュニアセミナー 労務委員会 講師に斎間氏招く



講師の斎間氏

労務委員会(梅田真吾委員長)は昨年11月16日に「第6回FEセミナー Jr(ジュニア)コース」を鐵鋼会館(大阪市中央区)で開催しました。今回は講師として㈱サイマコーポレーション(神奈川県藤沢市)の斎間孝

社長をお招きし、新入社員から勤続3年目前後の社員23社49名が講義を受けました。

当日はセミナーに先立ち開講式が行われ、その中で増谷理事長は「かつての3Kと違い、

近頃の3Kは『過剰品質・形骸化・事なき主義』になっているという。こういった事はユーザーとメーカーの橋渡し役である我々の知識により防げるのではないか』旨話し、参加者の意欲的な参加を期待しました。

講師を務めた斎間社長は「知識の増やし方」をテーマとして受講者に対し分かりやすく流暢な語り口で知識向上の必要性を説明しました。その中でも受注率向上に有効な営業スキルとして「使い方の提案力」を示す「アプリケーション・エンジニアリング」の重要性を挙げ、その向上のためにはねじへの造詣の深さが不可欠である事や、特に機械的性質を主とした規格に関する知識の重要性が解説されました。

「話し方」について学ぶ 年末恒例の経営講演会＆忘年会を開催

昨年12月1日にスイスホテル南海大阪（大阪市中央区）において恒例の経営講演会ならびに忘年会を開催しました。講演会では「表現力・話し方」をテーマに、好印象を与える話し方について時折練習を交えながら講演が行われた。忘年会では余興としてbingoゲームが行われ、出席者は和やかな空気の中行く年を送りました。

第1部の講演会は経営委員会（近藤淳委員長）の運営の下、「社長のための『表現力と話し方』を身に付ける」を演題として行われました。講師はコンサルタントネットワーク株（岡山県）取締役副社長の本田祐美氏。

本田祐美氏。本田氏は初めに「自分が話している様子を録画するのが間違いなく最短の上達方法だ」とした上で、「どのような印象を相手に与えたいか念頭に置きながら講義を受けてもらえば」と講演の方針を説明しました。講演では途中出席者同士のエクササイズを交えながら好印象を与える話し方について解説がなされました。

講演会の後に行われた忘年会は総務委員会（宮川勝委員長）の運営の下で行われ、総務委員である熊田隆氏が司会を務めました。初めに増谷理事長が挨拶に立ち「経済的にも政治的にも多くの出来事があった1年だった」と1年を



講師の本田氏

振り返りました。また組合の活動として、昨年初開催となった「F E 検定」や新たに制定された組合ロゴマーク、また関西ねじ協同組合様との合同行事である「ねじ川柳」に触れ、当組合70周年の記念式典が2020年12月4日にリーガロイヤルホテルで開催される旨併せて報告しました。



挨拶する増谷理事長

増谷理事長の挨拶の後、乾杯の発声を中上副理事長が、中締めの挨拶を鈴木副理事長がそれぞれ務めました。途中余興として行われたbingoゲームでは旅行券や話題のゲーム機などが景品として用意され、出席者は和気藹々と懇親を深めました。



bingoゲームの一場面

大鉄協＆関西ねじ共催「ねじ川柳」コンテスト

大阪鉄螺卸商協同組合と関西ねじ協同組合は、共催で「ねじ川柳コンテスト」を開催しました。昨年10月31日まで作品を応募したところ、2組合より382句の応募がありました。理事長賞の作品及び選考委員会による講評をご紹介致します。

「落ちている ねじみてさがす もとの場所」

・作者…嶋田元氏（サンコーインダストリー株）

〔講評〕誰しもが、一度はドキッとしたことがある経験を上手く纏められている。ねじ一本あるべき場所から外れてしまうと、事故が起こりうることを教えてくれる一句である。

「ベビーチェア 成長示す ねじの跡」

・作者…藤元まりな氏（日本鉄螺株）

〔講評〕ねじ自体ではなく、ねじが取り付けられていた跡を詠むことで、ねじが人の成長に深く根ざしていることを上手く表現された一句である。

(※原作「ネジ」表記を「ねじ」としています)

シリーズ 私の宝物(趣味)

「旅、そして歴史探訪」

(株)水谷製作所

水 谷 肇

幸いにして、健康で無類の旅好きの私は、半世紀にわたって広範囲且つ可なりの数の旅行を敢行してまいりました。色々な旅がありましたが、今回は些か古い話ですが、特に意義深く、感銘と印象に残った一つの旅行のお話をさせていただきます。

平成16年3月、気のおけない朋友と22日から30日にかけて、ぶらり中国に旅しました。まず起点となる上海に到着。隣接する蘇州(江蘇省)と杭州(浙江省)は既に複数回訪れお馴染みなので後回し、今回は西安、古名長安が古の中国好きの我々の最も関心深い目的地でした。早速上海航空で紅橋空港から西安空港に飛び、西安市中心地の西安香格里拉金華飯店にチェックインし3日間の滞在と歴史探訪の旅が始まりました。

陝西省西安、古名「長安」は、中国の中央、黃河流域に位置し、古来洛陽と共に中国二大古都(首都の時期が特に長かった先年の王城)として君臨しました。B.C.221年秦の始皇帝が群雄割拠する春秋戦国時代を勝ち抜き、「初の中国統一」(当時の中国は現在の広大な中国ではなく、この一帯を指しました)を成し遂げる迄(それ以降も)、群雄入り乱れ天下の覇を競う檜舞台で、それは「中原に鹿を逐う」という有名な言葉を生みました。信じられぬ事に秦は僅か15年で滅び、長安はその後、漢、隨に続き唐の都となりました。唐はA.D.618年建国から3百年弱の間、絢爛たる中国文化絶頂期を謳歌し、聖徳太子の遣唐使と留学生派遣、最澄、空海の留学などを受け入れ、我国に言い知れぬ恩恵を与えてくれました。当時を顧みると、厚恩を決して忘れるべきではありません。

総面積12,600平米(現在は14,260平米)、等身大の兵士6千体の地底軍團という空前絶後の規模を誇る兵馬俑を訪れ、郊外平野に聳え、当時盜掘防止の為に作られた地下水銀地に守られて今も遺体が眠るという始皇帝の墓、驪山陵に登り、始皇帝の壮大な権力と偉業(万里の長城も集大成)に驚嘆。次いで、楊貴妃が湯浴みし、また西安事件(昭和11年共産党を嫌い対日国共合作を拒否する蒋介石を張学良が監禁)の際の生々しい壁の弾痕が残る華清池を巡遊。更に玄奘三蔵(三蔵法師)が建立した大雁塔、小雁塔を見学。更に、安倍仲麻呂の墓碑に詣でました。1974年農耕作業中偶然兵馬俑を発見した功績で、一介の貧農から今は悠々と兵馬俑博物館長を務める楊志発氏に握手を求めた際に撮った写真は今も懐かしく大切に保管しています。今回の西安行きは、始皇帝4千年の万古不易、古色蒼然とした荘重な往古一炊の夢を見させてくれました。その風格たるや、現在の首都北京とは比べるべくありません。大満足、大納得の旅でした。

旅の醍醐味は、◎同行者との親睦 ◎脱日常と解放感 ◎未知の異界、異景と独特の空気感 ◎異風俗の発見 ◎旅先の人情との触れ合い ◎多少危険なスリルと冒険 ◎グルメ ◎海外では為替差益による利得感などでしょうか。加えて、社会探訪、歴史探訪は一段上の楽しさを唆ります。事前に目的地の知識と情報を手に入れる。重ねて自主学習し詳しく調べる。そして現地に行って考えていた事と目にした事が合致した時の喜びは、正にしてやったりの快感です。

上海、蘇州、杭州の旅は、紙面に限りあり残念ながら省略させて頂きました。

表紙のことば

組合ロゴマーク

(株)大丸鉢螺製作所 荒井昭子

この度大鉢協のロゴマークの公募に応募した結果、選ばれるとは思っていなかったので採用されて非常に嬉しいです。デザインを考える

際、娘に相談したところ、ねじのイメージが「丸頭にすり割りが入っている」物をシルエットに「大鉢協」の文字を強調し、組合の歴史を創立年号で表しました。

副賞は出産を控えていた娘に、報告と共に持つて行きました。有り難うございました。

今後の主な年間スケジュール

2018.2

日 時				行 事 (予 定)	場 所
2 14 14 20	水 水 火	15:00 16:00	三役会 理事会／役員懇親会 広報誌(94号)発行	鉄鋼会館 鉄鋼会館／セントグレース ヴィラ	
3 2~3 4 14 14	日 9:00 10:00 水 15:30 水 16:30	9:00 10:00 三役会 理事会	第31回 FEセミナー(Stコース) 第44回ボウリング大会	鉄鋼会館 弁天町グランドボウル 鉄鋼会館 鉄鋼会館	
4 24 24	火 火	13:30 15:30	三役会 理事会	鉄鋼会館 鉄鋼会館	
5 23	水	15:00	通常総会	ヴィアーレ大阪	
6 未定			第70回野球大会 キャプテン会議	未定	
7 22 29	日 日	9:00 9:00	第70回野球大会(1~2回戦) 第70回野球大会(2~3回戦) ねじ流通商社経営実態調査票、組合員に配布	村田機械(神足球場) 村田機械(神足球場) (8月回収)	
9 未定 12 12 20	日 水 水 木	9:00 15:00 16:00	第70回野球大会(準決勝・決勝他) 三役会 理事会／役員懇親会 広報誌(95号)発行	太陽ヶ丘球場(宇治市) 鉄鋼会館 鉄鋼会館／未定	
10 未定 未定 未定		9:00 9:00	第25回 FEセミナー(図面の見方・描き方) 第10回 テニス大会 第2回 FE検定	テクノセンター東大阪 未定 鉄鋼会館	
11 14 14 未定	水 水 水	15:30 16:30 9:00	三役会 理事会 第7回 FEセミナー(Jrコース)	鉄鋼会館 鉄鋼会館 鉄鋼会館	
12 7 7	金 金	16:30 18:30	講演会 忘年会	未定 未定	
2019 1 9	水	10:30	新年互礼会	ヴィアーレ大阪	

*上記は予定ですので、ご確認をお願い致します。

編 集 後 記

近年、AIの進化が著しく、自動車の自動運転化や工場の自動化、ヘルスケア部門、生活補助等様々な分野で研究、開発がすすんでおります。幼少期に憧れた未来の姿が現実になっていくことを実感するとともに、目まぐるしく変化をしていく時代であることを再度、認識する必要があると感じております。

寄稿頂いた皆様には心より御礼申し上げます。
本当にありがとうございました。 (佐藤聖仁)

発行所
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
(ツチノビル)

大阪鉄螺卸商協同組合
電話 (06) 6271-4550

印刷所
〒537-0013 大阪市東成区大今里南2-5-5
株式会社 ベン・アート
電話 (06) 6973-3338

大阪鉢螺卸商協同組合の 保険相談窓口

大阪鉢螺卸商協同組合では、組合員の皆様のための、保険相談窓口をご用意しております。既にご加入の保険の見直しや、新たにご加入になるときのご相談等を承っておりますので、是非ご活用ください。

取扱商品

医療・がん・傷害保険

生命保険

自動車保険



超保険
超ビジネス保険

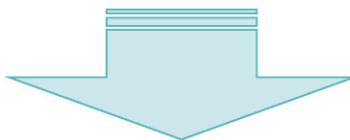
火災保険

賠償責任保険



* 生命保険・医療・がん保険のお引き受けは、東京海上日動あんしん生命(株)の商品で
(株)東海日動パートナーズかんさい 大阪南支店にて引き受けとなります。

この他にも多数商品を取り揃えております。
お見積もり、ご相談は無料ですので、
お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先

大阪鉢螺卸商協同組合

担当：中西

〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10

ツチノビル

TEL 06-6271-4550 FAX 06-6271-0514

提携代理店

株式会社東海日動パートナーズかんさい

TEL 06-4963-2813

大阪南支店 担当：井上

FAX 06-4963-2814

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-6-26 大阪グリーンビル4F

引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社
大阪南支店 直轄S

TEL 06-6203-0821